

長寿社会に求められるロボティクススマートホームの開発 / 愛知県豊明市

団地特有の住宅課題を解決するべく、介護ロボット等による団地型ロボティクススマートホーム (RSH) の開発

- URと主たる支援機器の開発者と共に協議し、団地のハードを考慮したRSHとして最適な機器とその配置の検討
- 豊明団地において、住民に対するRSH構想の周知を図り、実証に参加して頂くモニター住民を募る
- UR豊明団地内集会所に実証実験施設を設け、在宅実証を行いながら、各支援機器と居住空間との整合性を検証
- 実証実験施設での検証結果を踏まえ、有用性が認められた支援機器についての試験導入による検証

事業概要

代表提案者: 学校法人 藤田学園 藤田医科大学
 共同提案者: (株)モリトー、独立行政法人都市再生機構 中部支部、(株)LIXIL、トヨタホーム(株)、プランテックコンサルティング(株)
 総事業費: 0.49億円 (国費: 0.32億円)
 補助事業: ○技術の検証
 高齢者の安全快適な在宅生活実現のため、活動支援機器使用を前提とした居住空間、RSHの開発・検証

ロボティクススマートホーム(RSH)の構築

既存の団地集会所棟を改修した「けやきテラス」の2階に、ロボティクススマートホーム(RSH)実証研究施設を整備した。



豊明団地

豊明市は愛知県のほぼ中央に位置する人口約6.8万人のベッドタウンで、豊明団地は居住者4千人以上の大型団地である。



所在地	豊明市二村台5-1-1 他
築年月	1972年2月
階建	5階建
棟数	55棟
戸数	2,127戸
居住者数	約 4,000人
独居高齢者の数	約 290人 ※
高齢化率	約 26% ※

地図データ: Google

※ 本学推計

モニター実証や機器使用検証の状況

団地居住者を含む近隣住民に対して取組みの周知を行い、定期的に説明会や体験会を実施すると共に、既存住戸での機器検証を通して機器と居住空間の最適化に向けて検討を行った。

